

日本聖公会第3回韓国スタディ・ツアー案内

韓国の教会の働きから学ぶ

＋主の平和。

日本聖公会が大韓聖公会と公式交流を開始して、今年で29年になりました。過去2回、韓国の社会宣教の現場の学びの旅を実施しましたが、東日本大震災により3年ぶりの実施となりました。

今回はより教会に身近な社会宣教の働きに接して、体験し日本での可能性を探りたいと願っています。

1980年代から始まった「ナヌメジップ（分かち合いの家）」の働きは大韓聖公会の中で大きな位置をしめており《宣教教会》として「信仰」「奉仕」「共同体」を大切に続けてられています。そこでの働きから多くの人材も誕生しております。

今回は分かち合いの家でも草創期から活動を続けている「ノウオン分かち合いの家」を中心に学ぶ計画をしています。ソウル教区における聖職志願者の急増も、この働きと無関係ではありません。

信徒・教役者の不足、教会活動の停滞などに直面している日本聖公会の諸教区、諸教会において大韓聖公会のこうした働きと方向に学ぶことが多いのではないかと思います。

つきましては、下記のようなスタディーツアーを行い、大韓聖公会の社会宣教の働きに学びつつ、私たちの教会における今後の働きについて研修したいと存じます。教区によっては、すでに、このような学びをしている教会もあると思いますが、日本聖公会全体に呼びかけて、教区を超えた参加者を募ることにより、教区間協働の可能性も探ることができる機会にしたいと考えています。どうぞ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

2013年7月
日本聖公会正義と平和委員会
委員長 主教 洪澤一郎
同・日韓協働プロジェクト
主教 武藤謙一

記

- ① 日程：2013年9月5日（木）～9日（月）4泊5日
- ② 場所：ソウル市及び華城市
- ③ 参加費用：10万円（航空券、宿泊料、ガイド、通訳、見学移動費を含む）
* 宿舎はソウル YMCA ホテル（ソウル市鍾路区鍾路2街9）です。
- ④ 募集人員：20名（各教区1～2名）
- ⑤ 主催：日本聖公会正義と平和委員会日韓協働プロジェクト
- ⑥ スタッフ：司祭 矢萩新一（団長・管区宣教主事）、
呉 光現（日韓協働プロジェクト委員）
- ⑦ 申込先：管区事務所 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03-5228-3171 ファックス 03-5228-3175
- ⑧ 申込〆切：8月3日（土） ※申込頂いた方には詳細を別途ご連絡いたします。

プログラム

区分	時間	内容	備考	
一 日 目	9/5 (木)		入国 (仁川空港・金浦空港)	
			チェックイン (ソウルYMCAホテル)	全員集合後 空港出発
		18:00 ~ 19:00	夕食	
二 日 目	9/6 (金)	08:00 ~ 09:00	朝食	
		09:30 ~ 10:30	蘆原 (ノウオン) 分かち合いの家に出発	団体バス
		10:30 ~ 12:00	蘆原分かち合いの家案内、見学 - 分かち合いの家運動の現況 (講義)	
		12:00 ~ 13:30	昼食	
		13:30 ~ 16:00	施設見学	分かち合いの家 関係
		16:00 ~ 17:00	主教座聖堂に出発	
		18:00 ~ 19:00	夕食	社会的企業 貞洞食堂
19:00 ~ 19:30	宿所到着及び休息			
三 日 目	9/7(土)	08:00 ~ 09:00	朝食	
		09:00 ~ 10:30	ナレウル 華城市複合福祉タウン到着	
		10:30 ~ 12:00	機関見学及び講義 - 韓国社会の福祉の現状及び発展方向	講師 (イ・ジョンギル館長)
		12:00 ~ 13:30	昼食	ナレウル食堂

		13:30 ~ 17:00	施設内体験プログラム実施 - 障がい体験プログラム、 家庭訪問弁当配食	
		17:00 ~ 18:00	夕食	
		18:00 ~ 19:30	宿所到着及び休息	

区 分		時 間	内 容	備 考
四 日 目	9/8(日)	08:00 ~ 09:00	朝食	
		09:00 ~ 10:30	蘆原分かち合いの家	
		10:30 ~ 11:30	主日ミサ	ホ・カウソ司祭
		12:00 ~ 13:30	昼食	共同体食事
		13:30 ~ 15:30	蘆原分かち合いの家の実務者・信徒と懇 談会	
		15:30 ~ 18:00	自由観光 (南山・韓屋村又は仁寺洞等)	
		18:00 ~ 19:00	夕食	
		19:00 ~ 19:30	宿所到着及び休息	
五 日 目	9/9(月)	08:00 ~ 09:00	朝食	
		09:00 ~ 10:00	チェックアウト	
		10:00	各自の便に合わせて出国	

I) 蘆原（ノウオン）ナムヌの家

- 1) 機関代表：オ・サンウン神父 2) 設立日時：1986.9.28
- 3) 設立趣旨：蘆原（ノウオン）分かち合いの家は 1986 年、貧しい人たちの集住地域だったソウルの東北の端の上溪洞（サンゲドン）で「大韓聖公会貧民宣教機関」として始まった。その日暮らしでの貧しい隣人たちと共にアバラ屋で始まった分かち合いの家運動は、学習を渴望する人たちの夜学、非行に走りがちな青少年の勉強部屋と青少年教室、託児所、独居高齢者、障がい者、危機家庭及び子どものための家庭結縁事業、貧しい隣人の経済的自立と自活のための自活支援センター、雇用支援センターなどを運営し、地域住民のための連係活動を展開している。
- 4) 傘下施設：お母さんの愛地域児童センター / 蘆原地域自活センター
蘆原青少年自活支援館 / 一蘆原教育支援センターナラニ
社会サービス トルボムセンター / 幸せのお弁当分かち合い
など

II) 華城市ナレウル（複合福祉タウン）

- 1) 機関代表：イ・ジョンギル館長 2) 設立年：2010 年
- 3) 設立趣旨：ナレウルは華城市（ファソン）に位置する京畿道（キョンギド）で最初にバリアフリー認証を受け、総合社会福祉館、老人福祉館、障がい者福祉館、青少年センターなどが調和した複合福祉タウンである。華城市民のニーズと高齢者、障がい者、青少年など地域社会にオーダーメイド型福祉サービスを提供してすべての市民の幸せな人生を追求している。ナレウルとは「翼」と「垣根」という意の韓国固有語として建物の構造が翼と同じで付けられた名前である。
- 4) 傘下施設：総合社会福祉館 / 障害者福祉館 / 老人福祉館
障害者昼間保護センター / 青少年文化の家 など